

経済・金融 フラッシュ

米9月ISM製造業指数は51.5 と4カ月ぶりに50台を回復

経済調査部門 主任研究員 土肥原 晋

TEL:03-3512-1835 E-mail: doihara@nli-research.co.jp

米9月ISM製造業指数は51.5と4カ月ぶりに50台を回復した。同指数の50は製造業の拡大・縮小の分かれ目とされ、製造業の拡大が示された形となった。9月の各構成指数で注目されるのは受注指数（前月比+5.2）と雇用指数（同+3.1）の大幅な改善だろう。両分野とも最近の指標で不振が続き、市場が懸念していた分野である。こうした懸念がやや緩和されたこともあり、株価等にも好影響を与えている。もっとも、欧州問題や財政の崖といった要因による米景気の先行き不透明感が改善されたわけではなく、景気減速状態からの脱出については依然目途の立ちにくい状況が続いている。

1、ISM製造業指数は51.5と前月（49.6）から1.9ポイントの上昇

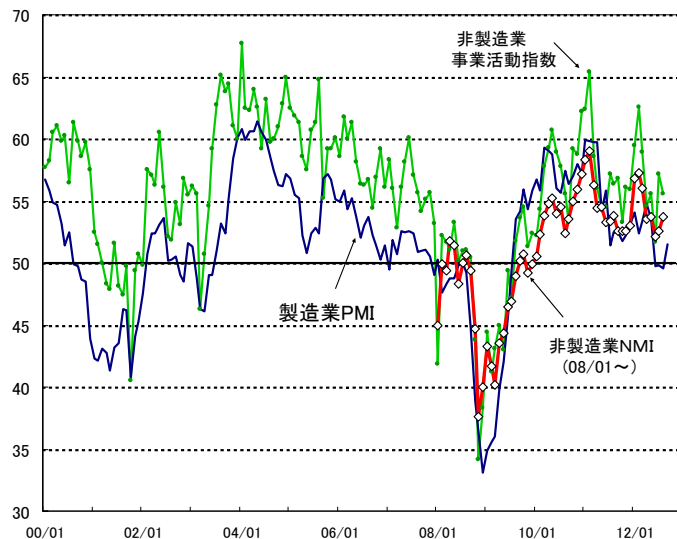
企業のセンチメントを示すISM（米供給管理協会）指数は、9月製造業指数（PMI）が51.5と前月（49.6）から1.9ポイント上昇、市場予想（49.7）を上回った。同指数は6月に2009年7月以来初めての50割れとなり、34カ月連続での50越えに終止符を打ったが、9月は4カ月ぶりに50台に復帰した。同指数の50は製造業の拡大・縮小の分かれ目を示す水準とされており、製造業は、単月の統計ながら再び拡大が示唆されたこととなる。

過去、PMIは、金融危機後の2008年12月に33.1と近年の最低水準を記録した後、2009年8月には53.5と50台を回復、昨夏に景気への懸念が強まった時も底堅く推移し、本年5月まで50台を維持していた。

このため、6月以降の50割れは製造業の不振を示す指標となっていたこともあり、今回の予想外の50台復帰に際し、昨日の米株式市場は一時160ドル超（NYダウ30種）の上昇を見せた。

発表元のISMでは、「過去のデータから見たPMIが示す経済全体の分かれ目（GDPのゼロ

（図表1）ISM指数の推移（月別）



（資料）Institute for Supply Management、以下も同じ。

注：内訳は（図表2・3）を参照、9月非製造業指数は10/3発表予定

成長)は42.6であり、9月PMIは実質GDPの年率3.0%に対応する水準」としている。

(各指数別の動向)

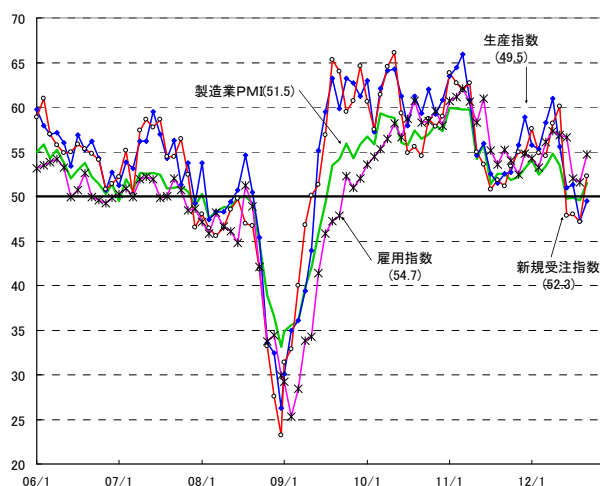
2、PMIの各指数中、新規受注指数が最大の上昇幅に

PMIの構成5指数(受注、生産、雇用、入荷遅延、在庫)の動きの中で今回の特徴的な動きは、新規受注指数が52.3(前月比+5.2ポイント)、雇用指数が54.7(同+3.1ポイント)とそれぞれ比較的是っきりとした上昇を見せたことだろう。受注や雇用指数の改善は、先日発表された8月耐久財受注の大幅な落ち込み(前月比▲13.2%)や今週末発表の雇用統計、等への懸念を緩和するものとなっている。

そのほか、生産指数が49.5と50割れながらも同+2.3ポイントの上昇、入荷遅延は50.3と同+1.0ポイントの上昇を見せた。半面、在庫指数が50.5と同▲2.5ポイント低下、唯一の低下指数となった。先行きの不透明感が残るものの、全般的には減速局面からの持ち直しを示唆するものとなっている。

また、上記構成指数以外の5指数もすべて上昇している。中でも上昇が大きかったのは価格指数で58.0と前月比+4.0ポイントの上昇となる。8月の同+14.5ポイントの大幅上昇に続くものとなるが、いずれも昨今のエネルギー価格上昇の影響を受けたものと思われる。そのほか受注残指数が44.0、輸出指数が48.5と、それぞれ同+1.5ポイントの上昇を見せている。

(図表2) PMIと主要構成指数の推移(月別)



注:()内の数値は2012年9月値

(図表3) ISM指数：製造業各指数の推移

	製造業指数																				8→9月 変化幅	
	11年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		9月
PMI	59.9	59.8	59.7	59.7	54.2	55.8	51.4	52.5	52.5	51.8	52.2	53.1	54.1	52.4	53.4	54.8	53.5	49.7	49.8	49.6	51.5	1.9
新規受注	63.8	62.7	61.9	62.7	55.0	53.6	50.8	51.8	51.1	53.4	55.0	54.8	57.6	54.9	54.5	58.2	60.1	47.8	48.0	47.1	52.3	5.2
生産	63.5	64.4	65.9	60.8	54.6	55.9	52.5	51.5	52.5	52.7	55.7	58.9	55.7	55.3	58.3	61.0	55.6	51.0	51.3	47.2	49.5	2.3
雇用	60.7	61.1	62.1	60.6	58.3	61.0	55.1	53.6	55.2	54.0	52.4	54.8	54.3	53.2	56.1	57.3	56.9	56.6	52.0	51.6	54.7	3.1
入荷遅延	59.3	60.1	59.8	59.7	54.4	55.2	50.6	51.2	51.6	52.2	51.3	51.5	53.6	49.0	48.0	49.2	48.7	48.9	48.7	49.3	50.3	1.0
在庫	52.0	50.5	49.0	54.5	48.5	53.5	48.0	54.5	52.0	46.5	46.5	45.5	49.5	49.5	50.0	48.5	46.0	44.0	49.0	53.0	50.5	▲2.5
顧客在庫	45.5	40.0	39.5	40.5	39.5	47.0	44.0	46.5	49.0	43.5	50.0	42.5	47.5	46.0	44.5	45.5	43.5	48.5	49.5	49.0	49.5	0.5
価格	81.5	82.0	85.0	85.5	76.5	68.0	59.0	55.5	56.0	41.0	45.0	47.5	55.5	61.5	61.0	61.0	47.5	37.0	39.5	54.0	58.0	4.0
受注残高	58.0	59.0	52.5	61.0	50.5	49.0	45.0	46.0	41.5	47.5	45.0	48.0	52.5	52.0	52.5	49.5	47.0	44.5	43.0	42.5	44.0	1.5
輸出	62.0	62.5	56.0	62.0	55.0	53.5	54.0	50.5	53.5	50.0	52.0	53.0	55.0	59.5	54.0	59.0	53.5	47.5	46.5	47.0	48.5	1.5
輸入	55.0	55.0	56.5	55.5	54.5	51.0	53.5	55.5	54.5	49.5	49.0	54.0	52.5	54.0	53.5	53.5	53.5	53.5	50.5	49.0	49.5	0.5

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。